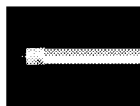
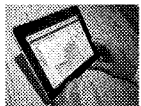


快適に節電、 という発想。

灯りを消さざるをえないロビーやエレベーターホール、廊下。画面する電力危機が、事業継続計画の大きな課題であることは、言うまでもありません。が、その代償として業務環境に、そして勤務意欲に大きな影を落しているのも事実です。内田洋行では、築40年の本社ビルにLED照明「Ubiqlight」のネットワーク制御システム、既存のビルにも後付け可能なBEMS（ビルエネルギー管理システム）「EnerSense™」の導入をはじめとするリノベーションを敢行。たとえば業務環境を快適に保つまま、照明電力は63%削減。削減した電力をこの夏の空調に回すだけの余力をつくることを可能にしました。快適性の維持と、節電の両立。どうぞ、内田洋行の本社ビル「ユビキタス協創広場CANVAS」におこしください。私たちが実践している様子を実際にご覧いただけます。



節電対策に即効性のあるLED照明「Ubiqlight」(ユビクライト)。



「後付け」で制御・見える化・制御が可能なネットワーク対応型BEMS「EnerSense™」(エナールセンス)。

平成22年度 環境省「省エネ照明デザインアワード」公共施設部門優秀事例として「内田洋行ユビキタス協創広場CANVAS」(東京)が選定されています。

内田洋行 株式会社 内田洋行 〒110-8282 東京都中央区新富2-4-7 <http://www.uchida.co.jp/>
マーケティング本部 LEDビジネス推進部 tel:03-3555-4060 fax:03-3555-4632

節電対策機器・ソリューション

ビルや工場に 省エネ提案



オフィスのデスク用途として注文が増えているLEDスタンド

空調設備工事各社は顧客先の消費電力分布など現状の診断や、省エネ対策のアドバイスをするコンサルティングサービスなどを提供。実際の改修工事段階では、冷却塔や屋外機などで最新の省エネ技術を駆使した大規模な空調熱源システムの導入から、既存機種の運転

オフィスや工場で大きな電力消費を占める空調設備は、快適な空間作りには欠かせない。これを効果的に節電できれば消費電力全体への影響も大きい。また、省エネ効果の高い省エネ照明（LED）照明は、企業が工場などの節電を図るため大量導入するケースも増えている。

最適化のための制御サービスといったもので、顧客の需要に応じて適切な機器、サービスを幅広くそろえている。これにより、顧客は省エネ性だけでなく経済性まで含めた対策を施せる。また広い面積を要する工場や物流施設向けに、微細な霧を利用した省エネ型スポット冷房装置も発売されている。霧のように細かい水滴を空気に噴霧して水滴が蒸発する際の気化熱を利用。これにより周辺の空気を冷やし、さらにファンの送風で作業域周辺の温度を下げられる。必要な電力はポンプとファンの動力だけで済む。各社は少しでも他社と差別化を図れないかと知恵を絞っている。ある大手電機メーカー系列の社は、今春から家庭用LED照明の販売を本格化した。第一弾として発売したLEDスタンドは、読書用途を想定していたが、オフィスのデスクに置く照明に適していると

LED各社 差別化戦略

節電需要の増加でLEDの国内市場は異種雑や中小、海外の新興メーカーが相次いで参入し、混戦模様だ。調査会社のテクノ・システム・リサーチによると、国内のLED照明器具の市場規模は、2010年の480億円から15年には1550億円まで高まる見通し。一方、中小企業からはユニークな製品も登場している。リチウムイオン二次電池、口金に差し込んである間は充電し、非常時には外して懐中電灯として使用できる。ユニークな点が受けて、ドイツの外商からの引き合いもあるという。

有力企業の製品・技術

＜順不同＞

テンパル

テンパルの住宅用オーニング（日よけ）「エルパティオ・プラス」が本格的な夏を前に、節電対応商品として注目されている。オーニングは窓の外側に設置し、日射による窓からの室温上昇を緩和する。エアコンの稼働率を3分の1に減らすことも可能だ。同製品は3Dアームの開発により、左右のアームを別々に変化させるため、フレキシブルなキャンパス

フルタ電機

昨今の経済情勢において、製造現場での節電要請が強まる中、フルタ電機は工業用大型送風機「ストリームFA4630C」を発売した。「一般的な工業用送風機より小さい250ℓの電力で連続的に体を包む風が体感できる」をコンセプトとして開発された。高効率モーターと専用インバーター、新設計の直径1ℓのステンレス製羽根を採用することで、オイルミストや粉塵がある環

日本IBM

日本IBMは電力使用量の抑制のため、四つのアプローチを推奨している。中でも仮想化技術を活用したサーバの統合は物理的なサーバ台数の削減により、最も効果的な省電力化が実現できる。特に大容量メモリを搭載した「eX5搭載システム」を利用すれば、すでに仮想化しているシステムのさらなる統合が可能。全体の構成要素を減らすことに

ダイワボウノイ

ダイワボウノイの「エコリリース」は、ドライ機能を持つうえ皮脂汚れを除去しやすい新素材。環境に優しく節電対応の吸汗速乾素材として、アパレル・小売業界などから注目を集めている。原理は、コットンの成分であるセルロースの特性を引き出したもの。「エコリリース」を使用した肌着や寝具製品は、襟や袖口に皮脂汚れモデル（オレイン酸）が水に浸けるだけで取

富士電機機器制御

富士電機機器制御の「電力監視データ配信ユニットFMPWeb」は、同社の電力監視機器FMPシリーズなど最大63台の端末に接続できる計測データ収集ユニット。あらかじめ電力監視画面ソフトウェアが組み込まれており、専用ソフト無しでもパソコンのウェブブラウザから監視できる。またウェブサーバ機能を

日比谷総合設備

日比谷総合設備とDTSが共同で開発を進めている「スマート・ライティング・コントロール」は、オフィス照明における無駄な点灯を利用者の操作によって消灯することで節電を実現する。同システムはセンサーなどによる自動制御ではないため、利用者が消灯操作を行わなければならないが、消灯による電力削減を表示する「見える化」を併せて搭載することで、利用者の省エネ意識が向上すると考えている。

MARUWA SHOMEI

MARUWA SHOMEIは、水銀灯代替製品としてLED高天井照明「TAKATEN」を開発、販売している。消費電力は水銀灯40ℓと比べ62%削減。この夏の節電対応に貢献する。同社のLED光源は、エネルギー効率よく光に交換できるのが特徴。水銀灯に比べ熱の放出量も少なく、室内空調でも節電効果が期待できる。また独自の光学設計技術によ

内田洋行

内田洋行はオフィスの電気使用量を数値やグラフで見える化するビルエネルギー管理システム「EnerSense（エナールセンス）」と、独自の制御機能と一体化したLED照明「Ubiqlight（ユビクライト）」で企業の節電対策を後押しする。エナールセンスは照明や空調など設備ごとに電力使用量を計測し、専用ソフトウェアで監視・制御する仕組み。既存のビルに後付での設置が可能で、フロアの一部から導入し、ネットワークを介して全フロアやビル全館、他拠点へと導入範囲を拡張できる。価格は計画回路が最大回路で30万円（標準工事費込み）から、エコリリースは器具単位で照明を制御し、人がいる場所のみ明るくするなどの細かい制御が可能。同社本ビルでの実証試験では導入前と比べ消費電力を約63%削減した。



おかげさまで創立70周年。70th ANNIVERSARY

エコロジーをもっと身近に、
すぐそばに。



洗剤量を抑え、環境に優しいエコ素材

EcoRelease
エコリリース

しかも
経済的

ダイワボウノイ株式会社
TEL 06-6281-2406・03-4332-8228
<http://www.daiwabo.co.jp/>

それは、最新の紡績技術とエコロジーの融合から生まれた“新しいコットン”

コットンやレーヨンを持つ能力を最大限に引き出すには？という発想から、繊維素セルロースをナノレベルの分子構造まで探求し、脂などの不純物を自らの力で追い出す機能を引き出すことに成功しました。とこの皮脂汚れをリリースする素材「エコリリース」の誕生です。

生地には付着した皮脂汚れを、単に水に浸すだけで、自らリリースする様子が見られます。（右写真）このため、少ない洗剤で、衣類の黄ばみや臭いなどの原因にもなる皮脂汚れを洗い出してコットンの白さと清潔さを保ち、さらに、コットン本来の吸水性や気密性も向上しました。（特許出願中）

+ Awning = ECO
オーニングで快適 ECO環境

ずっと、省エネ。もっと、節電。

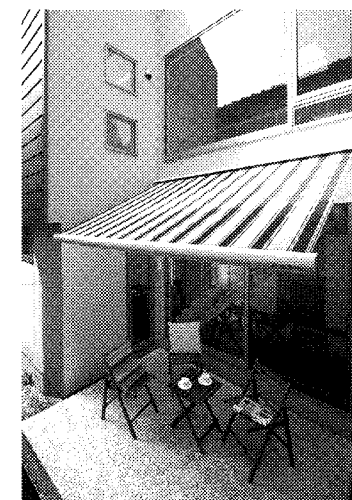
特別な夏へ。



スライドキャンパス
ソラカゼ
●レール仕様のスライド式キャンパス
●最大開口4.0m/最大出巾4.0m
●パーゴラを憩いの空間に。
●アルミ取付枠もご用意。
●日刊工業新聞エナミング大賞受賞



オーニングのリーディングメーカーテンパルは、創業以来ぶれることのない発想があります。それは、庇（ひ）オーニングを通して、心地よい居住空間を創造するだけでなく、省エネ・節電にも大きく貢献したいという想いです。庇（ひ）オーニングは、何も遮へい物のない夏のお部屋のエアコン稼働率を66%削減します（当社調べ）。



住宅用オーニング【角度可変タイプ】
エルパティオ・プラス
●驚きの新機能、角度可変を標準装備。
●用途やニーズに合わせて、いつでも自由にキャンパス角度を調整可能。

文化シャッターグループ

テンパル

株式会社テンパル 本社 〒169-0075東京都新宿区高田馬場4-9-12 ホームページ <http://www.tenpal.co.jp/>
首都圏(営)TEL.03-5925-6572 開拓(営)TEL.03-5925-6577 東日本(営)TEL.03-5925-6574 西日本(営)06-6264-5569